

Green Support Staff

活動日誌

平成20年8月4日(月) 天候：晴れ

巡視箇所：増毛町暑寒別岳

前日から降り続いていた雨も上がり、澄んだ快晴の中、山の風景は美しい緑色に覆われていました。今日は、頂上まで登り、登山者に対するマナ - 遵守と安全の呼びかけを行いました。



七合目付近、マシケオトギリを撮影しました。青い空と黄色い花の調和は美しく、登山の楽しみのひとつです。



七合目付近、まだチシマフウロが咲いていました。



七合目付近、登山道脇にウメバチソウが並んで咲いていました。



七合目から八合目にかけて、エゾノホソバトリカブトの群落が見頃を迎えていました。



- 遠景 -

八合目手前付近で、ヒグマがハクサンボウフウの根を食べるために掘り返した跡がありました。



- 近景 -

八合目付近の標識には体毛が付いていたとの情報もありました。今後も注意が必要です。
(ペ - ジ巻末に「ヒグマ対策」を掲載しました)



八合目付近では、まだタカネナデシコが咲いていました。



八合目から見た山頂方向。ハイマツの緑と青い空がマッチしてとてもきれいです。



八合目と九号目の中間付近からの山頂方向と登山道の様子です。



九号目から山頂台地へ至る急な登り。青い空と緑のコントラストに山頂への期待が膨らみます。



山頂台地ル - ト分岐標識から山頂方向を望みました。



山頂台地ル - ト分岐近辺にはコガネギクがいたるところで見頃を迎えていました。



山頂台地中間付近ではコケモモの実がついていました。



山頂台地中間付近。
マシケオトギリの花は終わりを迎えていました。



山頂台地中間付近。
雨竜沼湿原が鮮やかに眺望できました。



山頂台地中間付近。
増毛町方面が鮮明に見えていました。



山頂台地中間付近。
中央に見えるのは西暑寒岳、左は雄冬山、右は天狗岳です。



山頂手前にはウメバチソウの群落があります。
登山道の脇なので大切に保護しなければならない箇所です。



山頂からの奥徳富岳と群別岳の眺望です。
積丹方面も青く見えています。



山頂ではヤマハハコとコガネギクが見頃を迎えていました。



山頂で南暑寒ル - トからの来た登山者に会いました（眺望風景のガイドを頼まりました）。



下山途中に山頂台地で箸別ル - トからの登山者と会いました。安全と8月の植物のガイドをしました。

ヒグマ対策

- ・基本的にヒグマは人間を避けて行動します。
- ・そのため、事前に人間の気配を教えてあげれば、ヒグマの方から立ち去ってくれるでしょう。
ただし、ヒグマは嗅覚、聴覚に比べ、視覚はあまりよくありません。

そのため、

鈴や笛などを携行し、音で人間の存在を知らせてあげましょう。

時折、大きな声を出すことも効果的です。

単独行動を控え、複数人で行動するようにしましょう。

足音や話し声などでヒグマが人間の存在に気づきやすくなります。

風の強い日や水音のする沢沿いなどでは人間の存在に気づきづらくなりますので特に注意が必要です。

糞や足跡など生々しい痕跡を見つけた場合は、すぐ近くにヒグマがいる可能性があります。

そんなときは引き返す勇気も必要です。

ゴミ(食べ物)を捨てることは、それに餌付いたクマが人間を「おいしい食べ物をくれる対象」と見なすことに繋がります。ゴミを捨てる行為は、後から訪れる人を危険な目に遭わせることと同義です。

知床森林センタ - HP ヒグマ対策から引用させていただきました。